

平成29年度（2017年度）広島経済大学 免許状更新講習シラバス

■教育の最新事情（必修領域）

講習の名称	教職についての省察 「専門職たる教員の役割」
実施日時	平成29年8月8日（火）9：00～10：40
担当教員	三山 緑
講習の狙い	ワークショップを通じて日々の教育経験を省察し、自らに必要な教員としての専門的力 量について考察する。
講習方法	ワークショップ形式
到達目標	自らの教職経験を省察することで、今後の課題を発見する。
講習内容	今日、脚光を浴びている「省察」（リフレクション）の実践的学習論を踏まえ、自らの教育 経験に関する省察をワークショップを通じて行う。この経験により、これまで固定化し がちだった子ども観や教育観を見直したり、今後教員に求められるだろう資質・能力と現 在の自らの資質・能力とを比べたりしながら、専門職としての自らの今後の課題について 考える。
教科書・教材・ 参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配付する。
成績審査	成績審査は、試験の成績で判断する。 評価基準は、60点以上を合格とする。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定 を行う。
備考	キーワード：省察的实践家、教員の専門的力

講習の名称	教職についての省察 「学校を巡る状況変化」
実施日時	平成29年8月8日（火）10：50～12：30
担当教員	田中 泉
講習の狙い	学校現場における、外国籍児童・生徒の現状を理解することを通じて、近年の学校を巡る状況の 変化を正しく認識する。
講習方法	統計情報、各種報道などを利用して現状を認識した上で、学校現場における国際化の現状について 理解を深める。
到達目標	日本で学ぶ外国にルーツを持つ児童・生徒の問題の現状を正しく理解できる。
講習内容	主に日本社会のグローバル化に伴う学校現場の問題について扱う。1990年の「出入国管理及び難 民認定法（入管法）」の改定以来増加し続けている外国籍の児童・生徒に関して、外国籍児童・生徒 の増加の背景・原因、日本語習得、受け入れ体制や社会の偏見・差別など、彼らが抱える「ことば、 しくみ、こころのバリア」の問題について、政府の施策・統計情報を交えて論じる。また、広島県 内の状況について、受講者の方々と情報交換を行う。
教科書・教材・ 参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績審査	成績審査は、試験の成績や講習中の質疑等を参考に総合的に判断する。 評価基準は、総合点で60点以上を合格とする。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
備考	キーワード：社会のグローバル化、帰国児童・生徒、外国籍児童・生徒

講習の名称	子どもの変化についての理解 「子どもの発達に関する課題」
実施日時	平成29年8月8日(火) 13:30~15:10
担当教員	神田 義浩、森田 裕司
講習の狙い	子どもの発達に関する心理学、脳科学等の最新の研究成果や知見を紹介し、年々変化してゆく子どもについての理解と現実的な対応策についての理解を深める。
講習方法	ワークショップ形式
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験的に理解している子どもの発達の姿を客観的・科学的に理解できるようになる。</li> <li>・学習困難な子どもの原因や対応策を学び、特別支援教育の新たな可能性を理解する。</li> </ul>
講習内容	人間の心身の発達について、その脳科学的な基礎を、神経回路網の発達という観点から解説するとともに、発達障害の原因についても概観する。またLD、ADHD、アスペルガー症候群などとして知られるようになった発達障害の症状について整理し、そのような子どもに対する現実的な対応策を持ち寄った事例などをもとに検討する。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配付する。
成績審査	成績審査は、試験の成績で判断する。 評価基準は、60点以上を合格とする。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
備考	キーワード：LD、ADHD、高機能広汎性発達障害（自閉症、高機能自閉症、アスペルガー障害）

講習の名称	子どもの変化についての理解 「子どもの適切な指導」
実施日時	平成29年8月8日(火) 15:20~17:00
担当教員	森田 裕司、神田 義浩
講習の狙い	今子どもに起きている変化を理解し、対応方法を考える。
講習方法	講義、グループ討議
到達目標	子どもの様々な変化を理解するための視点をもつこと。 見立てに応じた具体的な対応方法を考えること。
講習内容	今どきの子どもの特徴を明らかにし、それを「学習以前の土台」という視点から理解する。 子どもの土台の形成のために、クラスや個人指導でどのような対応が有効かを検討する。
教科書・教材・参考書	特になし。講習に必要なレジュメや資料は配布する。
成績審査	成績審査は、試験の成績で判断する。 評価基準は、60点以上を合格とする。
修了認定の方法	科目毎の履修認定は行わない。必修科目それぞれの成績審査結果を総合審査し、履修認定を行う。
備考	キーワード：学習以前の土台、マズローの欲求階層説、つなぐ、居場所、早期発見